



2020年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月11日

上場会社名 株式会社P R T I M E S 上場取引所 東
 コード番号 3922 URL https://prtimes.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 拓己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 三島 映拓 TEL 03-6455-5464
 四半期報告書提出予定日 2019年10月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第2四半期の連結業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	1,374	29.3	345	44.9	344	63.2	163	13.2
2019年2月期第2四半期	1,063	32.2	238	32.6	211	17.6	144	15.7

(注) 包括利益 2020年2月期第2四半期 163百万円 (13.2%) 2019年2月期第2四半期 144百万円 (15.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	24.51	24.36
2019年2月期第2四半期	21.57	21.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	2,371	1,896	80.0	284.67
2019年2月期	2,254	1,884	83.6	280.80

(参考) 自己資本 2020年2月期第2四半期 1,896百万円 2019年2月期 1,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年2月期	—	0.00	—	—	—
2020年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年2月期の連結業績予想（2019年3月1日～2020年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,857	25.0	637	22.9	630	27.5	432	37.6	64.36

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	6,728,600株	2019年2月期	6,712,400株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	66,290株	2019年2月期	229株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	6,654,879株	2019年2月期2Q	6,675,894株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年3月1日～2019年8月31日)におけるわが国の経済は、堅調な企業収益が景気を下支えしているものの、米中貿易摩擦の激化や欧州の政治リスクなどの影響が懸念され、先行き不透明な状況にあります。

当社におきましては、株式会社大垣共立銀行及び株式会社CAMPFIREとの業務提携を初め、京都府広報協議会との連携協定を実施いたしました。また、ニュースリリース配信サイト「PR TIMES」の利用企業社数は2019年8月に32,000社を突破し、国内上場企業のうち約36%の企業に利用していただきました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,374,849千円(前年同期比29.3%増)、営業利益は345,208千円(前年同期比44.9%増)、経常利益は344,858千円(前年同期比63.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は163,102千円(前年同期比13.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ116,483千円増加し、2,371,470千円となりました。

流動資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、2,034,663千円と前連結会計年度末に比べ262,373千円の増加となりました。これは、現金及び預金の増加209,580千円が主な要因となります。

固定資産におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、336,807千円と前連結会計年度末に比べ145,889千円の減少となりました。これは、無形固定資産の減少138,023千円が主な要因となります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ104,711千円増加し、474,723千円となりました。

流動負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、468,058千円と前連結会計年度末に比べ101,858千円の増加となりました。これは、前受収益の増加25,678千円及びその他の増加63,728千円が主な要因となります。

固定負債におきましては、当第2四半期連結会計期間末残高は、6,664千円と前連結会計年度末に比べ2,853千円の増加となりました。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ11,772千円増加し、1,896,747千円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加160,035千円及び自己株式の増加136,923千円が主な要因となります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,602,829千円と前連結会計年度末に比べ209,580千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は382,015千円(前年同期は154,939千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益241,598千円、減損損失98,381千円及び未払金の増加額73,219千円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は20,554千円(前年同期は106,883千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出13,093千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は151,880千円(前年同期は710千円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出153,507千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年4月12日の「2019年2月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,393,248	1,602,829
受取手形及び売掛金	343,819	411,676
その他	46,604	42,288
貸倒引当金	△11,383	△22,131
流動資産合計	1,772,290	2,034,663
固定資産		
有形固定資産	85,176	86,606
無形固定資産		
のれん	128,246	40,837
その他	148,893	98,279
無形固定資産合計	277,139	139,116
投資その他の資産	120,380	111,083
固定資産合計	482,696	336,807
資産合計	2,254,986	2,371,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,941	36,005
未払法人税等	70,304	83,772
前受収益	108,769	134,448
賞与引当金	31,080	32,000
その他	118,104	181,832
流動負債合計	366,200	468,058
固定負債		
その他	3,811	6,664
固定負債合計	3,811	6,664
負債合計	370,012	474,723
純資産の部		
株主資本		
資本金	419,931	420,660
資本剰余金	407,728	395,660
利益剰余金	1,057,636	1,217,672
自己株式	△502	△137,426
株主資本合計	1,884,794	1,896,567
新株予約権	180	180
純資産合計	1,884,974	1,896,747
負債純資産合計	2,254,986	2,371,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 3 月 1 日 至 2018年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月 1 日 至 2019年 8 月 31 日)
売上高	1,063,702	1,374,849
売上原価	207,743	208,110
売上総利益	855,959	1,166,738
販売費及び一般管理費	617,668	821,530
営業利益	238,291	345,208
営業外収益		
受取利息	6	7
その他	75	140
営業外収益合計	81	148
営業外費用		
支払利息	169	404
支払手数料	26,889	—
その他	—	93
営業外費用合計	27,059	498
経常利益	211,313	344,858
特別利益		
負ののれん発生益	4,512	—
特別利益合計	4,512	—
特別損失		
減損損失	—	98,381
固定資産除却損	3,841	4,878
投資有価証券評価損	762	—
特別損失合計	4,603	103,260
税金等調整前四半期純利益	211,222	241,598
法人税等	67,198	78,495
四半期純利益	144,024	163,102
親会社株主に帰属する四半期純利益	144,024	163,102

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 3 月 1 日 至 2018年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月 1 日 至 2019年 8 月 31 日)
四半期純利益	144,024	163,102
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	144,024	163,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,024	163,102
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 : 千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2018年 3 月 1 日 至 2018年 8 月 31 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3 月 1 日 至 2019年 8 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	211,222	241,598
減価償却費	29,730	34,256
減損損失	—	98,381
のれん償却額	11,502	16,500
負ののれん発生益	△4,512	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	762	—
固定資産除却損	3,841	4,878
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,146	10,748
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,300	920
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	169	404
売上債権の増減額 (△は増加)	△12,394	△67,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,694	△1,936
未払金の増減額 (△は減少)	13,685	73,219
前受収益の増減額 (△は減少)	30,635	25,678
その他	△52,426	9,244
小計	244,350	446,030
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△169	△404
法人税等の支払額	△105,314	△63,616
法人税等の還付額	16,066	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	154,939	382,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△38,122	△13,093
無形固定資産の取得による支出	△55,760	△7,461
事業譲受による支出	△7,000	—
投資有価証券の取得による支出	△6,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,883	△20,554
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△468	△550
株式の発行による収入	—	1,458
自己株式の売却による収入	—	720
自己株式の取得による支出	△242	△153,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△710	△151,880
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,345	209,580
現金及び現金同等物の期首残高	1,268,937	1,393,248
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,316,283	1,602,829

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年3月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式74,000株の取得を行いました。また、ストック・オプションの行使による自己株式8,000株の処分を行いました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が136,923千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が137,426千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報)

当社グループの事業は、ニュースリリース配信事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。